

令和4年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県民会館 文化振興課

2 施設所在地
富山市新総曲輪4-18

3 施設設置年度
昭和39 年度

4 設置目的
県民の文化の向上と地域経済の発展に寄与することを目的とする。

5 施設概要

〈本館〉

①建物の構造 鉄筋コンクリート造(地下1階、地上8階、塔屋3階)

②敷地面積 8,413㎡

③建物面積 4,381㎡ 延床面積 17,799㎡
(地下1階3,162㎡、1階3,624㎡、中2階277㎡、2階2,859㎡、3階2,096㎡、4階1,441㎡、
5～8階3,869㎡、塔屋1階154㎡、塔屋2階157㎡、塔屋3階160㎡)

④施設内容 ホール(1,105席)、展示室、会議室、美術館、ギャラリー、練習室、ロビー

⑤開設 昭和39年8月

〈分館・内山邸〉

①建物の構造木造(地上2階)

②敷地面積 12,404㎡

③建物面積 1,453㎡

〈分館・金岡邸〉

①建物の構造木造(地上2階)

②敷地面積 1,967㎡

③建物面積 806㎡

6 指定管理者
公益財団法人富山県文化振興財団

7 指定期間
5 年
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用(使用)料金収入の状況

(1)利用者数(人)

H30	R1	R2	R3	R4
910,935	732,452	396,678	447,817	596,657

(2)利用(使用)料金収入(千円)

H30	R1	R2	R3	R4
226,913	219,767	146,883	167,317	215,606

(3)利用料金収入見込み額(利用料金制導入施設の場合)

H30	R1	R2	R3	R4
217,546	220,366	220,366	220,366	220,366

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

新型コロナウイルス感染症の影響が低下し、収入については復調の兆しが見られるものの、利用者数はホールの民間興行催事や全国大会等の大型利用がコロナ禍前のレベルには至らず、平成30年度に比べ65%に留まっている。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・平成27年3月のリニューアルオープン後導入した利用受付システムにより、ホームページから施設の空き情報や利用申込み専用フォームが取得できることを積極的かつ効果的に周知し、スムーズな利用手続きに努めている。また、平成29年度から大会議室から順次中規模会議室にも天井吊下固定式のスクリーンを設置するとともに、プロジェクター更新などを進めて利用者の利便性向上を図っている。
- ・平成27年度に設置した正面入口の電子看板(デジタルサイネージ)や、ロビーでは、県内各施設の情報チラシや観光案内パンフを配置し、県の文化・観光情報の発信拠点として、魅力的で親しみの持てる施設環境づくりに取り組んでいる。
- ・分館においては、平成27年度より施設の特徴を県内外に発信し、休館日の団体利用申込については、臨時開館で対応している。
- ・利用料金やチケット代金の支払方法として、現金、銀行振込のほか、平成26年度からクレジットカード、平成29年度から電子マネー、令和2年度から二次元コード決済を導入し利便性の向上を図っている。
- ・独自のチケット販売システムを活用し、令和2年度からコロナ禍においても安全にホール(劇場)を利用できるよう、定員を1/2に制限して利用する場合、入場者が連絡先を記入できる欄を設けた座席指定券を無料で作成するサービスを実施している。
- ・令和3年度にホール棟休館中に測量作業を実施し、近年ホール利用者から要望の多い、ホール舞台の平面図及び断面図のデジタルデータを作成し提供している。

(3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

令和2年度に県が整備した有線LANによる高速通信が可能な情報コンセント、デジタル配信設備、赤外線マイクシステムをホームページ等で広報し、インターネット環境の提供、LANケーブルの貸出を無料で行うことで利用促進を図るとともに、WEB会議、ライブ配信などの新しい利用方法を提案している。

また、平成18年度から会館独自の利用料金の割引プランや、ワンストップサービス(看板や花の手配等)のより一層の周知を図っている。

分館では、令和2年度から県内有数の内山邸の梅園に解説二次元コード付き「樹木名板」を設置して、庭園の魅力を季節ごとに発信し、利用促進を図っている。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施期間：通年、実施方法：利用者アンケート用紙を配布
回答者数	134人
結果	職員対応：満足 69.9% 施設状況：満足 79.9%
結果を踏まえた改善事項	美術館、展示室利用者から展示台の一部に汚損が目立つとのことのご意見を受け、利用頻度の高いもの(57台)からクロスを張り替えた。 また、利用者からの要望により美術館の優先度の高い一部壁面のピックアップチャールールを取替え、利便性の向上を図った。(ワイヤー1本当たりの推奨耐荷重30kg→70kgに変更)

② その他利用者の声を反映させる取組み

各階に利用者アンケートボックスを設置するとともに、ホームページにご意見箱を設けている。

③主な苦情と対応

無

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報管理する責任者が決められ、管理も適切にされている。

(6) 関係団体との連携

富山県公立文化施設協議会事務局として県内公立文化ホール間の連絡調整などの中心的な役割を担っている。

(7) 施設・設備の維持管理

適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止策（外気取込量を最大限増加させた館内空調、ドアノブなどの不特定多数が接触する箇所の消毒液による清掃、空気清浄機・体温測定用カメラ及び手指消毒用アルコールの設置、無料の座席指定券の作成、飛沫感染防止アクリル板・非接触式体温計・客席使用数を制限するための席札等の無料貸出）を実施した。
- ・年2回の自衛消防隊による消防訓練を実施し、平成30年度に策定した危機管理マニュアル「不審者対応用」をもとに、更なる安全管理の徹底を行った。
- ・構内駐車場の満車に伴う周辺道路の混雑対策として、仮設案内板の掲示や誘導員の増員など、その緩和に向けた取り組みを強化した。
- ・ホールの舞台機構・照明・音響設備や館内各種設備について、日常から職員が自主点検を行うとともに、定期的に専門業者による保守点検を実施した。

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	6
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

無

11 今後の課題等（収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載）

- ・安全・安心な施設管理、すべての利用者の立場に立ったより快適なサービスの提供、公平かつ親切で迅速な利用者対応を徹底し、顧客満足度の一層の向上を図ること。
- ・県や民間が誘致するコンベンション活動等と連携し、令和2年度に整備されたWEB配信や会議用マイクシステムの活用など、施設の使いやすさを広くアピールし、施設の利用促進に努めること。

富山県民会館利用者推移

(人)

	ホール	美術館	展示室	ギャラリー	会議室 (特殊室含む)	計	内山邸	金岡邸	総計
30年度	105,070	125,517	71,087	325,685	253,132	880,491	22,326	8,118	910,935
元年度	110,750	98,078	69,083	178,291	252,060	708,262	18,991	5,289	732,542
2年度	26,480	75,125	39,520	96,754	143,050	380,929	13,306	2,443	396,678
3年度	41,380	51,576	47,097	146,898	160,866	447,817	13,534	2,030	463,381
4年度	69,651	72,486	69,505	185,733	199,282	596,657	13,689	3,292	613,638